

## 災害に強い浄化槽の整備により、公衆衛生と生活環境を保全する

## 【対策】73 浄化槽に関する対策

対策概要: 災害に強く早期に復旧できる合併浄化槽の整備の対策を実施することで、国土強靱化および災害対応力の強化を図る。

府省庁名: 環境省

## 【事例】浄化槽整備事業

- 実施主体: 福岡県大牟田市
- 実施場所: 福岡県大牟田市
- 事業概要: 既設の単独処理浄化槽※は老朽化しており、災害により被害を受けると復旧に時間がかかる。合併処理浄化槽は、単独処理浄化槽よりも災害に強く早急に復旧できることから、下水道計画区域外の住宅に対する浄化槽設置費補助の交付により、合併処理浄化槽への転換促進を実施。
- 事業費: 約3,400万円(令和4年度)  
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)約2,800万円)
- 効果: 合併処理浄化槽への更新により、災害時においても汚水処理機能が長期にわたり停止することを回避し、公衆衛生と生活環境の保全を図る。

※ 単独処理浄化槽は普及し始めてから40~50年が経過していることから変形、ひび割れ、破損等が多く見られ、災害によってそれらの状況が深刻化した場合に未処理の汚水が外部へ漏出し、地下水、飲用の井戸水等の周辺環境へ甚大な影響を与えることが懸念され、又その復旧も容易ではない。



## 災害に強い合併処理浄化槽の特徴

- ・分散処理のため長い管渠は不要であり、地震等の災害への対応力が高い。
- ・過去の震災においても、合併処理浄化槽の破損率は低い。
- ・全損率が低いため、応急措置により個別に復旧しやすい。